

Varonis による大容量のデータを持つ組織のクラウドベースのファイル同期に関する意識調査(2014年5月の EMC ワールドにおいて)

以下、300名のITプロフェッショナルからの回答からのサマライズである。

問い：あなたの会社が保持する非構造化データはどれくらいの容量ですか？

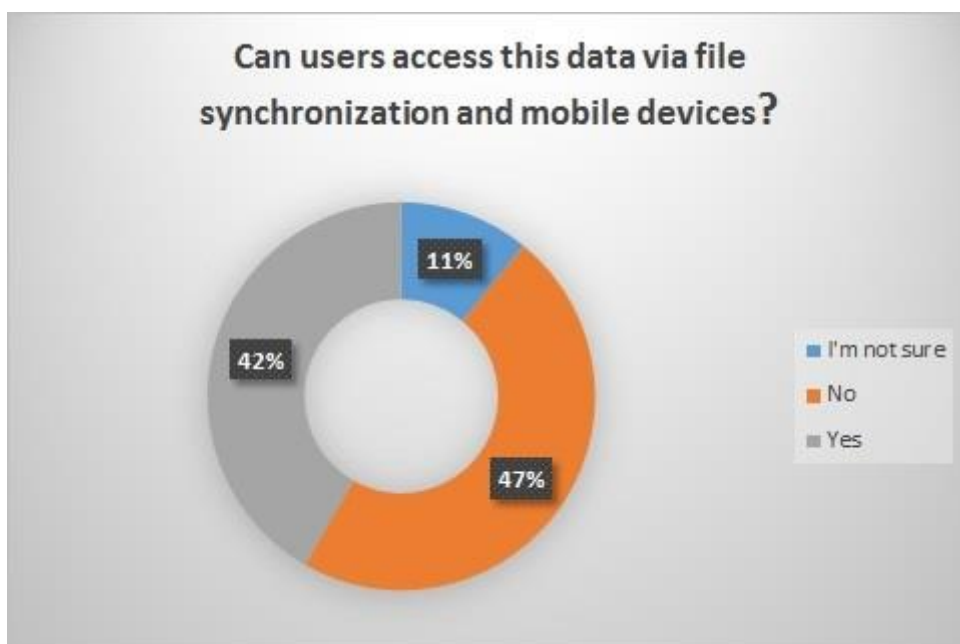
60%以上の回答者が30TB以上の非構造化データを保持している。



問い：ユーザはファイル同期やモバイルアクセスができる環境ですか？

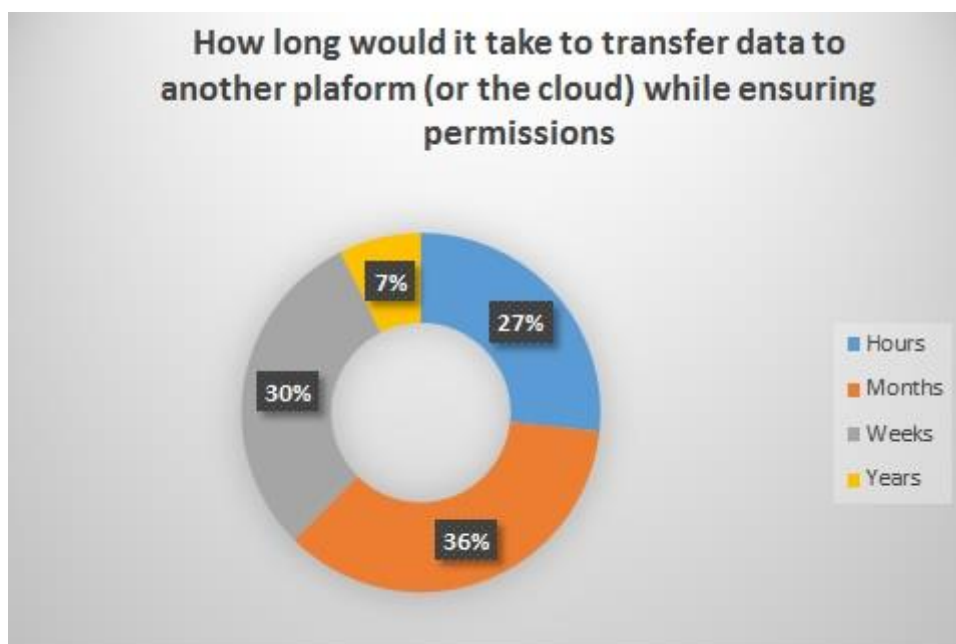
半分以下(42%)の回答者がユーザにモバイルデバイスによるデータアクセスを許しファイル共有をさせていると回答している。

(思いのほか企業の中でのモバイルからのデータアクセスは展開されていない)



問い：既存のアクセス権限をそのままに、データを新たなプラットフォームに移行させる場合、どのくらいの期間が必要だと思いますか？

43%の人が既存のアクセス権限をそのままに新しいプラットフォームへのデータ移行をさせる場合には「数ヶ月から数年の時間」が必要だと回答している。



まとめ

テラバイト級の非構造化データを保持するようになると企業はモバイルデバイスやファイル共有などでのデータアクセスは(本来便利であり導入したいのだが、セキュリティや運用の観点から)難しいと考える傾向になる。また、新しいプラットフォームへのデータ移行は非常に時間を要する計画となってしまう。ここで今までの回答から、「組織の中にある既存のデータそのものを他へは移行させないで、正しく安全なデータアクセスを実現するにはどうしたらよいのか？」という新たな質問を作ることができる。そして幸運にも Varonis の DatAnywhere が答えを持っている。

<http://sites.varonis.com/jp/products/datanywhere>